

2019 年度秋学期 統計学 第 10 回演習の解答例

1. 抽選器の玉に偏りがなければ、概ね正しい無作為標本抽出になっている。ただ、この例では、玉を 1 回 1 回戻していないので非復元抽出になっている。その意味では厳密な無作為抽出ではない。
2. どの乱数さいも正確に正 20 面体になっていれば、どの桁でも 0～9 の各数が同じ確率で現れるので、正しい無作為抽出になっている。
3. 声をかける間隔をきちんと決めておかないと、「答えてくれそうな雰囲気の人」にばかり声をかけてしまうので、正しい無作為抽出にならない。